

●幕末 - 明治頃



山形岳景《陸奥勝景道中絵図のうち 現在の吉野町付近から見た岩木山》
幕末 - 明治頃 紙本墨画 弘前市立博物館蔵

●1880 (明治13) 年

・楠美冬次郎がリンゴ園「不換園」を開設。リンゴ園の一角には屋敷があり、広い庭園が設けられ、大きな池が3つあり、鯉や金魚などを養殖し、そのほかに花菖蒲園が造られていた。畑にはリンゴの他、スモモ、西洋ナシなどがあり、トマト、アスパラガス、カリフラワー、レタス、キャベツ、エンドウなど西洋野菜も試植された



楠美冬次郎のリンゴ園「不換園」中津軽郡
富田村124番地、住吉神社筋向かい
明治年代初期

●1897 (明治30) 年

・4月15日、松木彦右衛門、鳴海久兵衛、佐藤英司、館山斬之進ら13名を發起人として設立許可申請を行っていた電燈会社の設立が認可された
・火力発電所の建設敷地の候補地として不換園があげられる。楠美冬次郎は宅地の一部を譲渡

●1901 (明治34) 年

・1月26日、弘前電燈株式会社が発足
(親方町の長久楼において創立総会が開かれる)
6月10日開業(社長：大道寺繁禎)
・第一番に楠美家に電灯がつく
・営業運転が開始され、弘前市他二か村で422灯の電灯がともる
・当時の価格は、電燈5燭光90銭、10燭光1円30銭、16燭光1円80銭

●1907 (明治40) 年

・弘前電燈株式会社は水力発電に切替えることになり、この場所から本町に会社を移した(ただし、本社が移転したのは1916年5月)
・弘前電燈株式会社の重役を務めていた福島藤助が同社の跡地を譲り受け、茂森町より倉庫3棟を移築(現存するC棟を含む)
・福嶋酒造会社と名称を改める



建設中の煉瓦倉庫の様子
福嶋家蔵



左：「吉野桜」広告 1909年
右：「吉野桜」広告 明治後期
弘前市立弘前図書館蔵



1860' s-

●1863 (文久3) 年

・11月25日、のちにリンゴ園を開く楠美冬次郎生まれる



楠美冬次郎 (1863-1934)
弘前市立弘前図書館蔵

●1871 (明治4) 年

・2月2日、のちに酒造工場の社長として煉瓦倉庫を建設する福島藤助生まれる
・廃藩置県



福島藤助 (1871-1925)
福嶋家蔵

●1875 (明治8) 年

・内務省勸業寮が輸入したりんごの苗木の配布を受け植栽し、青森県内におけるりんごの栽培が始まる

●1879 (明治12) 年

・御菓子司開運堂が開業

1880' s-

●1881 (明治14) 年

・明治天皇巡幸で御来弘

●1889 (明治22) 年

・4月1日、弘前市制が施行される

●1890 (明治23) 年

・楠美冬次郎、佐野熙による著書『苹果要覧』出版される

●1891 (明治24) 年

・青森駅が開業、東北本線上野～青森間が開通

●1894 (明治27) 年

・8月1日、日清戦争宣戦布告
・12月1日、青森 - 弘前間の鉄道が開通

●1896 (明治29) 年

・9月18日、第八師団の弘前設置が決定
・この頃まで、住吉神社の森の向こうには人家もまれて、田畑が広々とひらけ、桑やリンゴの木が植えられ、家が点在するという草深い田舎であったという
・福島藤助、大工から酒造業に転身、「吉野桜」の製造を始める

●1897 (明治30) 年

・10月10日、第八師団司令部が設置される。
・酒造法の制度改革が行われ、自家用酒の醸造が全国的に禁止される
・このころからリンゴの生産量の飛躍的な増加(1897-1901までに生産量が約4倍)に伴い、大量に生じる屑実の加工法の開発が進められる
・三原堂弘前支店が建てられる(のちにこの建物を1920年に一戸時計店が譲り受ける)

●1899 (明治32) 年

・東京工業大学の教授2名がリンゴ酒を試醸
・有数の酒造家松木彦右衛門の養子・松木淳一がリンゴ酒を試醸

1900' s-

●1900 (明治33) 年

・1月25日、石坂洋次郎誕生。以後青森県立弘前中学校を卒業するまでの間と、1925年に教員として赴任した約一年間を弘前で過ごす
・3月8日、のちに朝日シードル株式会社の社長となる吉井勇、北海道に誕生
・皇太子殿下(大正天皇)の御成婚の式典の際、楠美冬次郎が宮内省を通じてリンゴ200玉を献上

●1904 (明治37) 年

・2月10日、日露戦争宣戦布告

●1905 (明治38) 年

・1月、第八師団が第一・第七・第九師団とともにロシア軍と死闘。死傷者甚大。
・果実酒が無税となり、販売価格の引き下げが可能となる
・松木合資会社設立

●1906 (明治39) 年

・住吉町に長谷川牛乳店開業

●1907 (明治40) 年

・煉瓦倉庫の工事着工にともない、小栗山に煉瓦工場を建設

●1908 (明治41) 年

・弘前商業会議所開所
・文部省外国留學生盛岡高等農林学校教授・中村鼎によるフランスノルマンディー地方におけるシードルの視察

●1909 (明治42) 年

・市内に電話開通
・開市300年



住吉町にあった一流料亭「住吉館」 明治後期
弘前市立弘前図書館蔵